



## 2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年3月16日

上場会社名 株式会社ブシロード 上場取引所 東  
 コード番号 7803 URL https://bushiroad.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 義賢  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 村岡 敏行 TEL 03 (4500) 4350  
 四半期報告書提出予定日 2021年3月16日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止。代表取締役による四半期決算説明の動画配信を予定)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第2四半期の連結業績 (2020年8月1日～2021年1月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	18,026	3.4	158	△92.9	162	△92.8	△191	-
2020年7月期第2四半期	17,429	-	2,233	-	2,260	-	1,278	-

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 △178百万円 (-%) 2020年7月期第2四半期 1,525百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	△11.86	-
2020年7月期第2四半期	79.79	75.00

(注) 当社は、2021年6月期（当期）より決算期を7月31日から6月30日に変更し、当社グループの決算期を6月30日に統一しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	39,724	13,698	32.8
2020年7月期	34,518	13,871	38.3

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 13,028百万円 2020年7月期 13,222百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年6月期	-	0.00	-	-	-
2021年6月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2021年6月期（当期）より決算期を7月31日から6月30日に変更しております。このため、経過期間となる2021年6月期は、中間配当の基準日を1月31日、期末配当の基準日を6月30日としております。

### 3. 2021年6月期の連結業績予想 (2020年8月1日～2021年6月30日)

2021年6月期の連結業績予想につきましては、合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期2Q	16,345,400株	2020年7月期	16,311,400株
② 期末自己株式数	2021年6月期2Q	180,526株	2020年7月期	180,526株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期2Q	16,153,727株	2020年7月期2Q	16,020,363株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算説明内容の入手方法）

2021年3月16日（火）15時30分以降、当社ウェブサイトにて動画配信する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、withコロナにおける経済活動が再開されて一定の活発さを取り戻したものの、国内の新型コロナウイルス感染症の流行の第3波による11都府県を対象とした緊急事態宣言が2021年1月に再発令されたことにより、飲食やイベントを中心に経済活動が再び制限される状況となりました。

このような環境の中、当社グループは「IPディベロッパー」戦略のもと、「D4DJ」などの新規IPのプロモーション展開・メディアミックス展開に加え、各事業部門や各IPプロジェクトにおいて現在のwithコロナと将来のafterコロナを想定した計画をもとに活動を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高18,026,394千円(前年同四半期比3.4%増)、営業利益158,829千円(前年同四半期比92.9%減)、経常利益162,810千円(前年同四半期比92.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失191,532千円(前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益1,278,301千円)となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメント売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

## 1. デジタルIP事業

デジタルIP事業は、TCG(トレーディングカードゲーム)部門、MOG(モバイルオンラインゲーム)部門、MD(マーチャンダイジング)部門、メディア部門の4部門が属しております。

## ①TCG部門

東アジアを中心とした海外への販売が伸長し、主力TCGである「ヴァイスシュヴァルツ」を中心に好調に推移いたしました。また、「ヴァイスシュヴァルツ」において「アサルトトリリィ」の商品を、「Reバース for you」において「D4DJ」の商品を発売し、新規IPのメディアミックスとして連携した展開を実施いたしました。「カードファイト!! ヴァンガード」は2021年4月より始まる新シリーズ「カードファイト!! ヴァンガード overDress」の発表を2021年1月に行い、10周年を迎えるIPのリポートに向けたプロモーション展開を本格化いたしました。

## ②MOG部門

「D4DJ Groovy Mix」(自社IP・自社配信)はゲーム内で「モンスターハンター」との大型コラボイベントに加え、「ホロライブプロダクション」「水樹奈々」「ももいろクローバーZ」ほか多数のアーティストの原曲を実装するなど、音楽プラットフォームとしての展開を推進し、売上が伸びました。また、新規アプリゲームとして、「アルゴナビス from BanG Dream! AAside」(自社IP・他社配信)を2021年1月14日に、「アサルトトリリィ Last Bullet」(他社IP・他社配信)を2021年1月20日にリリースしたことに加え、当社と業務提携の関係にあるフロントウイングラボが開発した「グリザイア クロノスリペリオン」(他社IP・自社配信)を2020年11月26日にリリースいたしました。

## ③MD部門

緊急事態宣言の再発令に伴うリアルイベントの規模縮小や延期・中止の影響を受け、売上は軟調に推移いたしました。このような状況の中、カプセルトイの売上は引き続き堅調を維持しており、オリジナルカプセルトイブランド「TAMA-KYU(たまきゅう)」より「6割増どうぶつ」「畏」「マジで鳴る太鼓」など話題性のある商品を発売いたしました。

## ④メディア部門

ブシロードメディアより無料でマンガが読めるWEBサイト「コミックブシロード WEB」を2021年1月22日にオープンいたしました。IPの展開や創出の場として、12ヶ月連続で新連載の発信を予定しております。また、TVアニメについては、2020年10月より放送を開始した「アサルトトリリィ BOUQUET」及び「D4DJ First Mix」に係る償却費が大きく発生いたしました。

これらの結果、売上高13,359,110千円(前年同四半期比9.5%増)、セグメント利益27,864千円(前年同四半期比97.8%減)となりました。

## 2. ライブIP事業

ライブIP事業は、音楽部門、スポーツ部門の2部門が属しております。

### ①音楽部門

音楽ソフトについては、「バンドリ！」「D4DJ」を中心に12本のシングルCDと2本のアルバムを発売し、中でもPoppin' Party 16th Single「Photograph」がオリコン週間シングルランキング1位を獲得するなど、堅調に推移いたしました。ライブ・舞台については、「バンドリ！」「少女☆歌劇 レヴュースタァライト」「D4DJ」の音楽ライブ・舞台をオンラインや有観客にて複数開催し、さらに、新規IP「Road59 -新時代任侠特区-」の初公演となる舞台を2020年12月24日から27日にかけて有観客にて開催いたしました。しかしながら、緊急事態宣言の再発令に伴い、2021年1月に開催を予定していた一部イベントを延期するなどの影響が発生しております。

また、劇団飛行船については、新型コロナウイルス感染拡大により2020年8月から2021年3月までに180本以上の公演が中止になったため直近予測が赤字見込みであり、かつ、コロナ環境下の不確実性等も考慮してのれんを全額減損いたしました。

### ②スポーツ部門

新日本プロレスが主催する最大規模の興行である「バルサン Presents WRESTLE KINGDOM 15 in 東京ドーム」（イッテンヨン・イッテンゴ）を昨年に続き2021年1月4日から5日の2日間にかけて開催し、20,490名を動員いたしました。この他、新日本プロレスでは53回の興行を開催いたしました。また、動画配信サービス「新日本プロレスワールド」の有料会員数は2021年1月に過去最大の11.6万人に到達いたしました。

また、女子プロレスブランドのスターダムでは26回の興行を開催し、提供試合として「WRESTLE KINGDOM 15」にも参戦いたしました。

これらの結果、売上高4,667,284千円（前年同四半期比10.7%減）、セグメント利益124,453千円（前年同四半期比86.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は39,724,916千円となり、前連結会計年度末に比べ5,206,566千円増加致しました。これは主に現金及び預金が4,693,587千円、仕掛品が575,320千円それぞれ増加したことによるものです。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は26,026,706千円となり、前連結会計年度末に比べ5,379,804千円増加致しました。これは主に転換社債型新株予約権付社債が5,000,000千円増加したことによるものです。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は13,698,210千円となり、前連結会計年度末に比べ173,238千円減少致しました。これは主に新株予約権（ストック・オプション）の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,550千円増加した一方、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が191,532千円減少したことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて4,819,291千円増加し、24,971,689千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、883,066千円となりました。主な収入要因は、減価償却費269,104千円、減損損失214,339千円及び仕入債務の増加額392,201千円であり、主な支出要因は、たな卸資産の増加額648,083千円、法人税等の支払額631,788千円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、125,909千円となりました。主な支出要因は、固定資産の取得による支出265,014千円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、5,811,065千円となりました。主な収入要因は、新株予約権付社債の発行による収入4,985,183千円であります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、経済活動への影響が懸念されており、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループにおきましては、グループ全体でのメディアミックスによる収益モデルを確立し、IPづくりのペースを上げ、ライブIP事業におけるオンラインライブの制作、デジタルIP事業における電子コミックの制作及びさらなるEC(オンラインでの販売)、アプリへの注力といったオフラインやアナログのよさを保ちつつDX(Digital transformation: デジタルトランスフォーメーション)をすすめてまいります。

ただし、2021年6月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大等によりプロレスの興行、音楽ライブ及びイベントの延期や中止、販売店休業等による消費への影響、コンテンツ制作やMDの生産販売スケジュールへの影響が想定され、現時点では合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,895,997	26,589,584
売掛金	4,511,162	4,519,949
商品及び製品	668,798	751,016
仕掛品	1,492,287	2,067,608
貯蔵品	76,097	66,524
その他	1,646,323	1,780,525
貸倒引当金	△31,165	△30,311
流動資産合計	30,259,501	35,744,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	467,948	440,778
工具、器具及び備品(純額)	106,597	86,943
車両運搬具(純額)	56,625	45,133
土地	352,281	316,281
リース資産(純額)	16,545	20,582
その他(純額)	72,352	53,146
有形固定資産合計	1,072,350	962,864
無形固定資産		
ソフトウェア	163,286	95,365
ソフトウェア仮勘定	36,220	—
のれん	206,257	3,881
その他	56,302	183,151
無形固定資産合計	462,066	282,398
投資その他の資産		
投資有価証券	1,623,600	1,558,965
長期貸付金	252,446	250,306
繰延税金資産	349,665	443,075
その他	523,912	503,870
貸倒引当金	△47,028	△37,624
投資その他の資産合計	2,702,596	2,718,594
固定資産合計	4,237,013	3,963,858
繰延資産		
株式交付費	21,835	16,161
繰延資産合計	21,835	16,161
資産合計	34,518,350	39,724,916

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,435,519	3,826,468
未払金	1,619,033	1,378,870
未払法人税等	689,403	233,362
1年内返済予定の長期借入金	3,757,191	4,515,135
賞与引当金	84,379	82,647
その他	593,907	444,357
流動負債合計	10,179,434	10,480,841
固定負債		
長期借入金	10,198,164	10,284,818
転換社債型新株予約権付社債	—	5,000,000
役員退職慰労引当金	44,910	52,913
退職給付に係る負債	59,875	63,582
繰延税金負債	96,741	94,311
その他	67,775	50,239
固定負債合計	10,467,466	15,545,864
負債合計	20,646,901	26,026,706
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,092,823	3,095,373
資本剰余金	3,029,593	3,032,143
利益剰余金	7,342,609	7,151,077
自己株式	△324,679	△324,679
株主資本合計	13,140,347	12,953,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,179	48,680
為替換算調整勘定	28,256	26,034
その他の包括利益累計額合計	82,435	74,714
非支配株主持分	648,665	669,580
純資産合計	13,871,448	13,698,210
負債純資産合計	34,518,350	39,724,916



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
売上高	17,429,354	18,026,394
売上原価	9,282,501	11,400,582
売上総利益	8,146,853	6,625,812
販売費及び一般管理費	5,913,786	6,466,983
営業利益	2,233,067	158,829
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,573	8,887
持分法による投資利益	5,204	—
為替差益	13,965	23,326
助成金収入	3,033	46,914
その他	2,363	11,713
営業外収益合計	44,140	90,841
営業外費用		
支払利息	11,122	30,324
持分法による投資損失	—	33,206
株式交付費償却	5,996	5,673
社債発行費	—	14,816
その他	1	2,839
営業外費用合計	17,120	86,859
経常利益	2,260,088	162,810
特別利益		
受取保険金	33,817	—
特別利益合計	33,817	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,609
減損損失	—	214,339
災害による損失	26,288	—
特別損失合計	26,288	216,949
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,267,617	△54,139
法人税等	872,084	116,478
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,395,533	△170,617
非支配株主に帰属する四半期純利益	117,231	20,914
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,278,301	△191,532

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,395,533	△170,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124,685	△5,499
為替換算調整勘定	5,019	△2,221
その他の包括利益合計	129,705	△7,720
四半期包括利益	1,525,238	△178,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,408,006	△199,253
非支配株主に係る四半期包括利益	117,231	20,914

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,267,617	△54,139
減価償却費	106,347	269,104
減損損失	-	214,339
のれん償却額	1,168	23,280
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△520	△10,259
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,281	△3,051
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,807	3,706
受取利息及び受取配当金	△19,573	△8,887
支払利息	11,122	30,324
持分法による投資損益(△は益)	△5,204	33,206
災害による損失	26,288	-
受取保険金	△33,817	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	2,609
売上債権の増減額(△は増加)	95,172	△7,560
たな卸資産の増減額(△は増加)	△68,184	△648,083
仕入債務の増減額(△は減少)	△959,716	392,201
その他	△155,001	△492,445
小計	1,272,786	△255,654
利息及び配当金の受取額	19,389	32,677
利息の支払額	△11,203	△28,300
災害による損失の支払額	△26,288	-
保険金の受取額	33,817	-
法人税等の支払額	△566,822	△631,788
営業活動によるキャッシュ・フロー	721,679	△883,066
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,028,412	△1,225,407
定期預金の払戻による収入	879,295	1,354,293
固定資産の取得による支出	△162,978	△265,014
投資有価証券の取得による支出	△684,834	-
投資有価証券の売却による収入	100,000	-
貸付けによる支出	△20,187	-
貸付金の回収による収入	950	2,191
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△28,641
その他	△11,081	36,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	△927,249	△125,909
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	3,450,000	2,700,000
長期借入金の返済による支出	△1,018,482	△1,855,402
新株予約権付社債の発行による収入	-	4,985,183
株式の発行による収入	648,585	5,100
その他	△5,096	△23,816
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,075,006	5,811,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,365	17,201
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,873,802	4,819,291
現金及び現金同等物の期首残高	12,566,581	20,152,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,440,384	24,971,689

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年8月1日 至 2020年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル IP事業	ライブIP事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,204,996	5,224,358	17,429,354	—	17,429,354
セグメント間の内部売上高又は 振替高	176,970	199,239	376,210	△376,210	—
計	12,381,966	5,423,598	17,805,564	△376,210	17,429,354
セグメント利益	1,262,863	953,309	2,216,173	16,894	2,233,067

(注) 1. セグメント利益の調整額16,894千円は、たな卸資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年8月1日 至 2021年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル IP事業	ライブIP事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,359,110	4,667,284	18,026,394	—	18,026,394
セグメント間の内部売上高又は 振替高	217,849	255,068	472,917	△472,917	—
計	13,576,959	4,922,353	18,499,312	△472,917	18,026,394
セグメント利益	27,864	124,453	152,317	6,511	158,829

(注) 1. セグメント利益の調整額6,511千円は、たな卸資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

デジタルIP事業において214,339千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

デジタルIP事業において、のれんの減損を行ったことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの減少額は179,439千円であります。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の記載金額には当該のれんの減損も含めて記載しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。